

里山の自然や文化の魅力を知り・伝える、**私たちの活動**

第15回 つまり市民里山学会

2025年

8/30 (土) 13:30-16:30

会場：十日町情報館 視聴覚ホール

参加費
無料

豊かな自然環境に恵まれた十日町市と津南町からなる越後妻有（つまり）地域の里山。つまり市民里山学会は、この地域の自然や文化に関して、地域住民の皆さんが主役となって調査研究、教育・普及、実践活動を行った成果を発表しあう「市民が主役」の発表会です。

発表①

保護したブッポウソウの正体は？

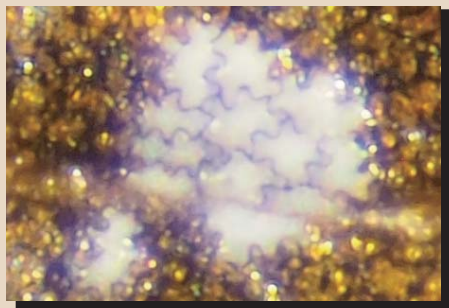
村山祐一（松之山野鳥愛護会）



発表②

きらきら★植物の宝石・ブナのプラントオパールができるまで-

阿部優（十日町市立西小学校）



発表③

松之山付近の水生昆虫について
＜水生カメシ編＞

佐藤日向（さいたま市立大宮北中学校）・内田大貴（埼玉県立自然の博物館外部研究者）・高野雄一（埼玉県三芳町）・岩田泰幸（公益財団法人文化財虫菌害研究所）

水生昆虫のカメシ目とコウチュウ目とは？



発表④

友の会メンバーを対象としたアンケートへの回答に見るキョロロとの関わりを左右する要因

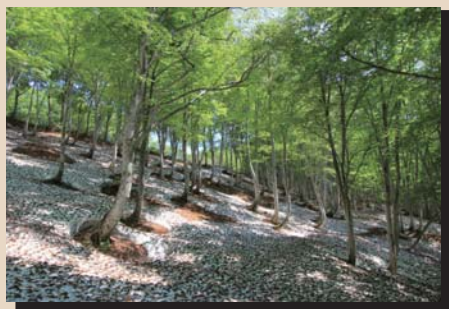
三島らすな（明治大学大学院農学研究科）・倉本宣（明治大学農学部）・小林誠（「森の学校」キョロロ）



発表⑤

癒しの森 樽田のブナ林

岡村昌幸・照井麻美（津南町森林セラピー推進協議会（ぶなもりの会））



発表⑥

クワガタムシをきっかけにした移住～オフィスワークから自然観察活動へ～

高木良輔（雪国クワガタ）

